

その愛とは... いつもこちらからはじめに一步踏み出す愛です。

I SEGNALIBRI di TEENS

I Care本のしおりにして一か月間生きよう思い出しましょう。

ルイス  
ブラジル



10 学校は、  
ぼくの心を動かす  
いつもいい機会です。

ある日、教室に行くと、先生はぼくたちにフランクのとなりの席に着くようにと言いました。フランクはとても貧しく、家族とあまり評判のよくない町の地区のガレージに住んでいました。

去年一年中で2、3回しか洋服を変えることもなく、身だしなみに気を使わないので、いやなおいがしていました。だれも近くによりたいとは思いませんでした。

ぼくも先生の言葉を受け入れるのは難しく、彼の近くに行ったら、宿題も教えてあげなくてはならないし、彼に注意を払わなくてはならないので、自分の自由な時間がなくなるからでした。

本当のことを言えば、次の時間の試験のことが気にかかっていた。でもイエス様の声がかっと強く私の心の中に響きました。本当に自分の持っている善意を全てもって、フランクと同じ机に行くことができると先生に答えました。

これができたことが、自分でもとてもうれしく、フランクをみると彼も少しうれしそうなのがみてとれました。

君だったら同じようにしますか？

自分の時間を必要な人に与えましょう。



いのちのことは

互いに愛し合うことのほかは、だれに対しても借りがあつてはなりません。人を愛する者は、律法を全うしているのです。  
(ローマの信徒への手紙 13・8)

Da un commento di Chiara Lubich - Adattamento Centro Gen 3

**聖**パウロは、公の権威に対して私たちが果たすべき義務(従順や敬意、税金の支払いなど)について語り、愛ゆえに果たすよう教えています。さらにパウロは、理解するのが少し難しい義務についても語っています。イエスが残された教えに従って、私たちがあらゆる隣人に対して負っている義務です。

後回し

にしたりは

できない

負債

**相**互の愛は、寛大さや思いやり、信頼や相互の尊敬、誠実さなどを通して表現されます。この愛は、「借り」、すなわち負債として示されています。負債であるなら、私たちは無関心でいたり、後回しにしたりはできません。支払いを終えない限り、私たちの気持ちは落ち着かず、心も休まらないものです。

相互愛は

あらゆるおきての

魂であり

最終目的です

**神**のみ旨をよく果たしたいなら、最終目的は相互愛であることを、私たちはいつも心にとめる必要があります。たとえば十戒の「第七のおきて」をよく生きるには、盗まないだけでなく、社会的不正がなくなるよう真剣に働く必要があるでしょう。そのようにしてのみ、私たちは隣人への愛を示すことができます。

いつも

自分から

先に

愛する愛

**聖**パウロが言うように、相互愛は私たちにとって負債であるとするなら、イエスがされたように私たちも自分から先に愛する必要があります。相手から期待したり、後回しにしたりせず、率先して愛することです。私たちの愛が具体的で、理解に富むもの、先に一步を踏み出すもの、忍耐と信頼に満ち、根気強く、寛大なものでありますように。

